

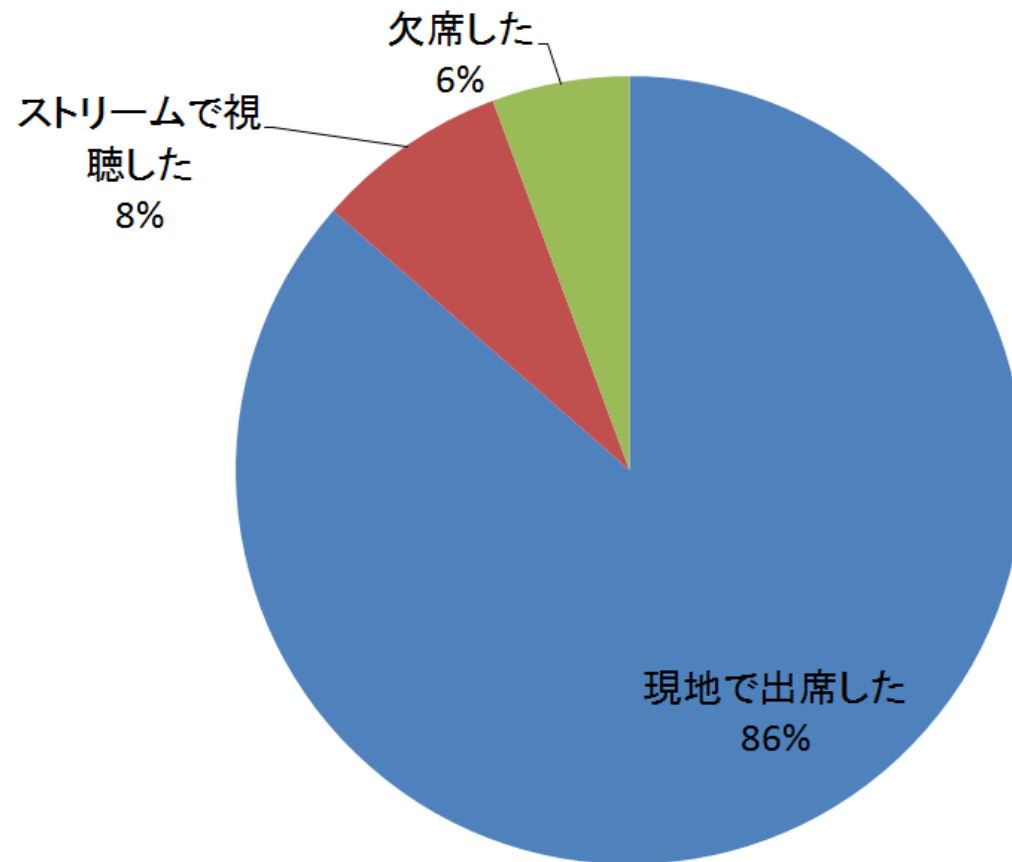
# JANOG26ミーティング アンケート結果

JANOG26実行委員会

- 本会議期間
  - 2010年7月8日(木)～2010年7月9日(金)
- アンケート期間
  - 2010年7月9日(金)～2010年7月23日(金)
  
- 本会議出席者数(2日間のべ)
  - 624名
- ライブ中継(最大Viewer数)
  - 7月8日 270名
  - 7月9日 291名
- 有効回答数
  - 177名

Q1

あなたはJANOG26に出席しましたか？



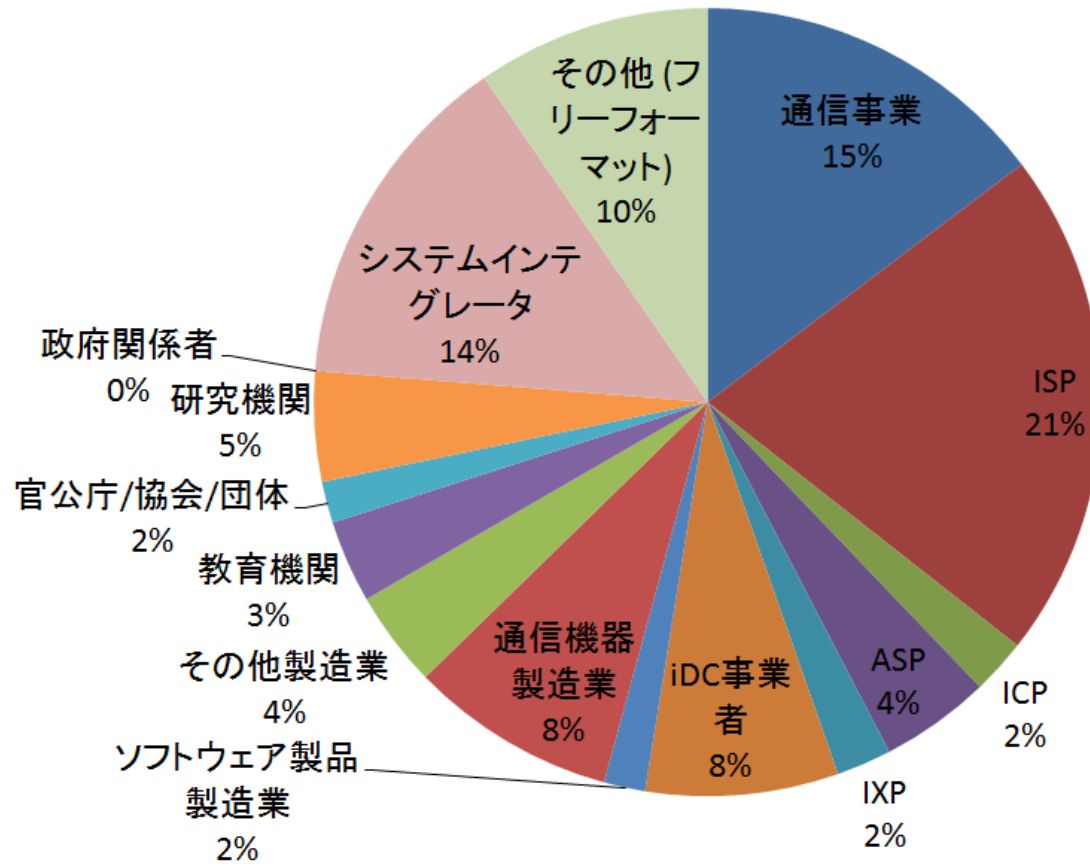
Q2

欠席された方について:今回出席できなかった理由について教えてください。

- 主な理由のうち、いくつかを記載しています。
- 遠方だから
- スケジュールの問題 直前になり予定が合わなくなってしまったため。
- 業務都合により 業務多忙で出張できなかった。また、会社の方針として、研修目的として、なるべく若手に行かせるように方向付けた。

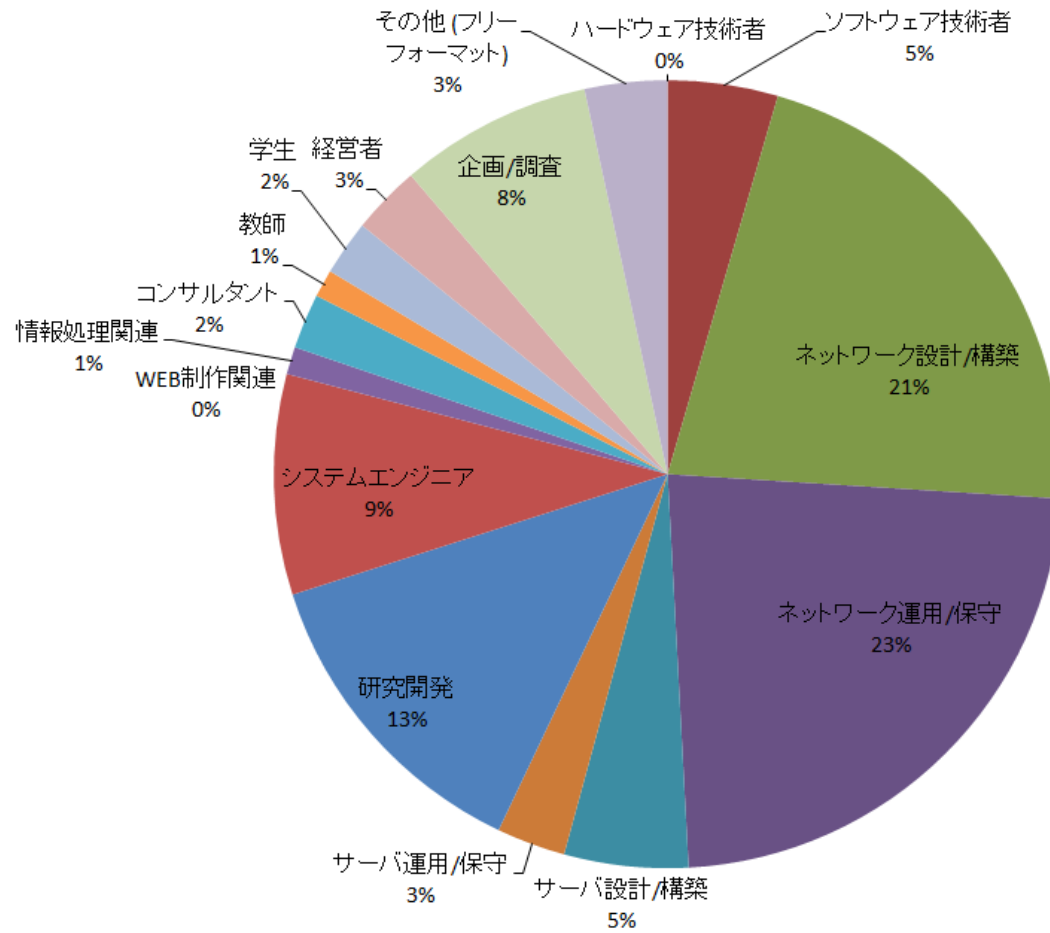
### Q3

あなたの業種を教えてください



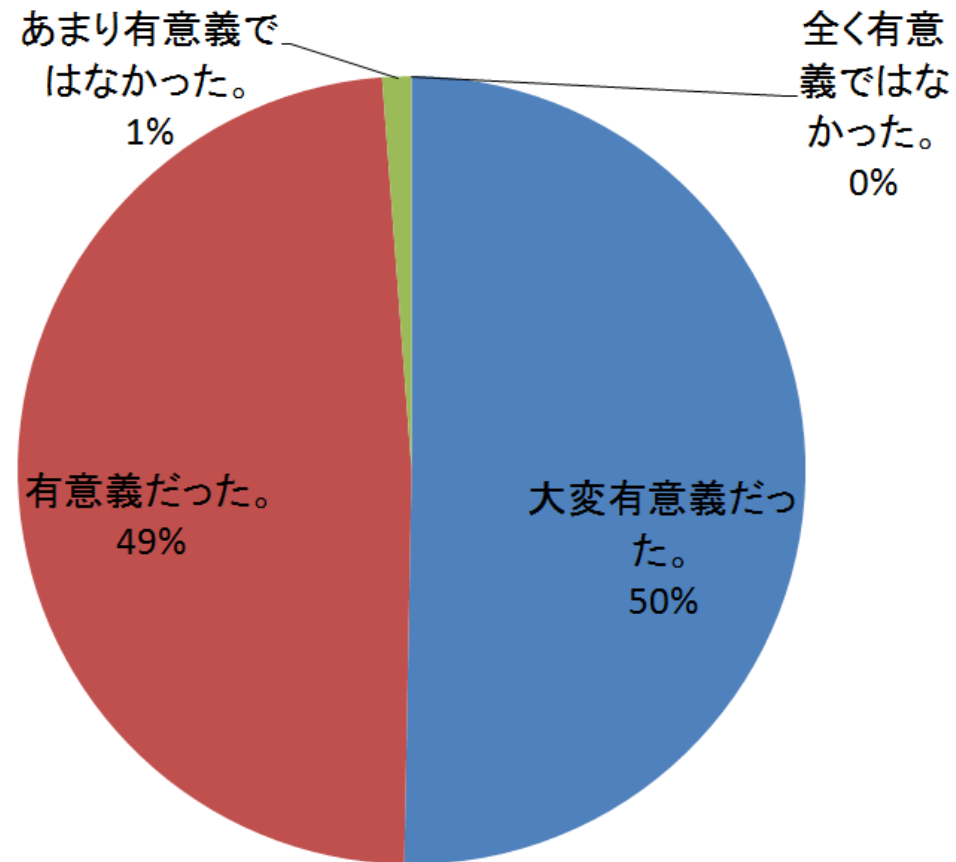
# Q4

あなたの職種(複数の場合はもっとも当てはまるもの)を教えてください。



Q5

出席した方、ストリームで視聴した方について:JANOG26ミーティング全体を通しての感想を教えてください。(1個選んでください)



Q6

出席した方、ストリームで視聴した方について:JANOG26で出席または視聴したプログラム全てにチェックをお願いします。また、プログラムの評価を5段階でお願いします。出席または視聴しなかったプログラムの評価は必要ございません。

欠席した方について:JANOG26で出席しなかったプログラムすべてにチェックをお願いします。





Q7

各プログラムに対して感想やご意見がありましたらお願いします。

- 特にありませんでした。

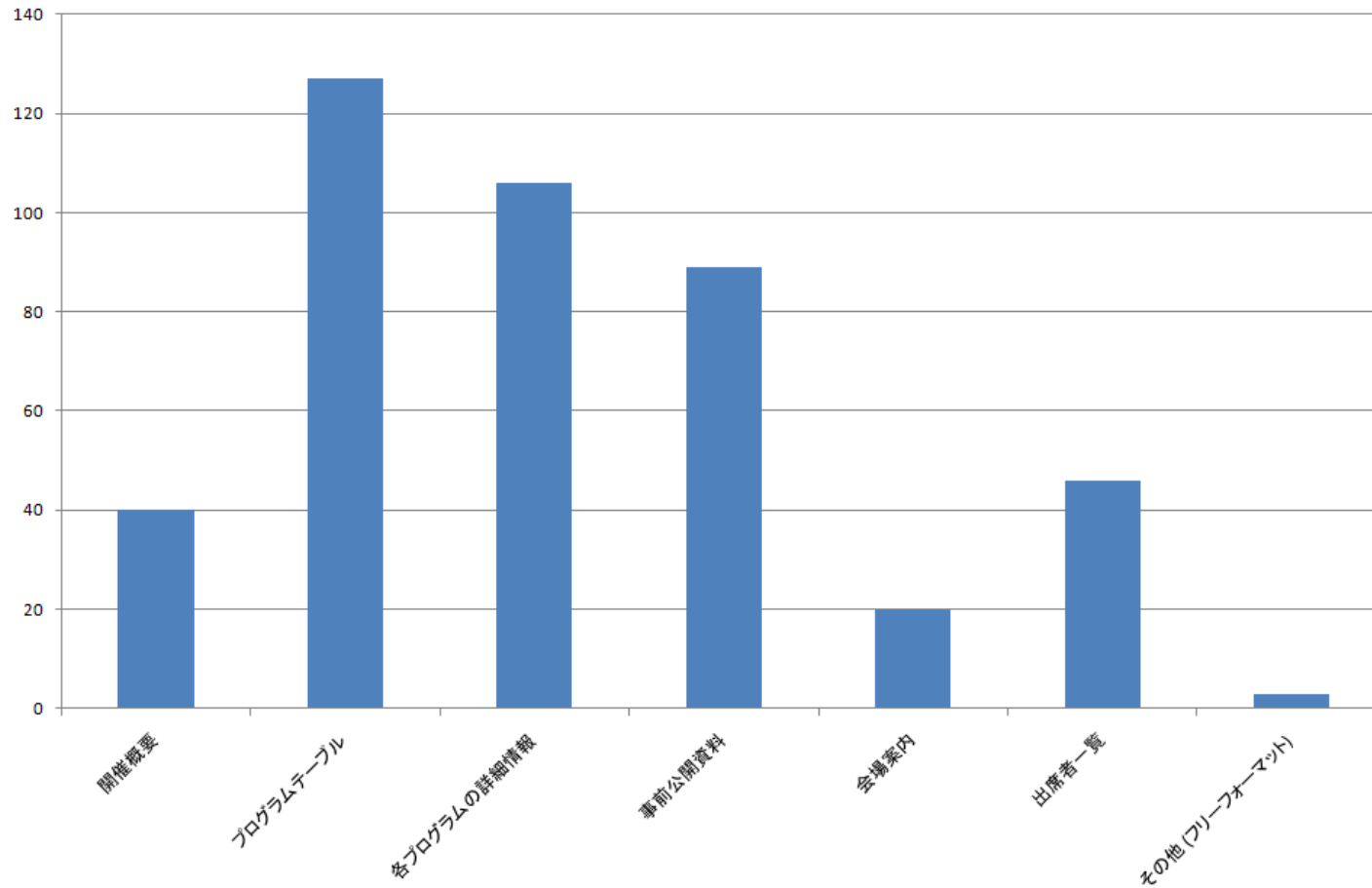
## Q8

こういう議論がJANOGで行われるとよい、という希望があれば教えてください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを記載しています。
- 通信政策などに関するレイヤの高い議論についても興味があります。
- 大規模 L2 ネットワーク実践ノウハウ  
サーバ仮想化の進展等により L2 ネットワークの規模が大きくなっている  
昨今、STP を始めとした L2 冗長機構やループ回避機構の重要性が高まっています。一方で xSP では L3 で組めるものは L3 で組むのがセオリーとなっていることが多く、意外と大規模 L2 ネットワークのノウハウが普及していません。そこで広域イーサネット事業者、エンタープライズ系SI、IXP などのかたを迎えて実践的なノウハウを語っていただく、というようなセッションを期待したいです。
- BGP運用時にあると良い機能や、載ってるけどいまいちな機能など、BGP オペレーションに関するマニアックな議論ができるとうれしい。

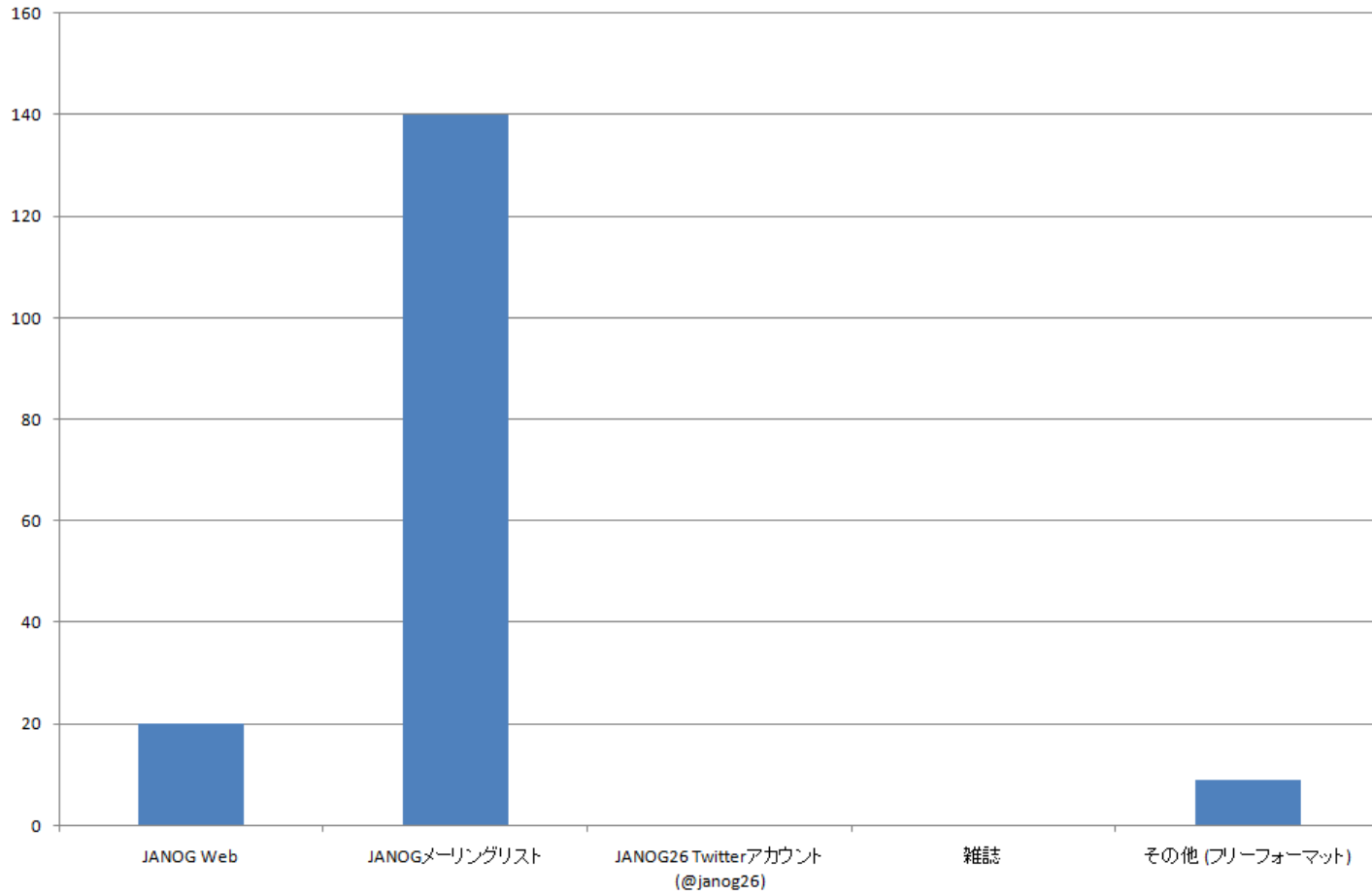
## Q9

JANOG26のWebにて役に立ったコンテンツを選んでください。(3つまで)



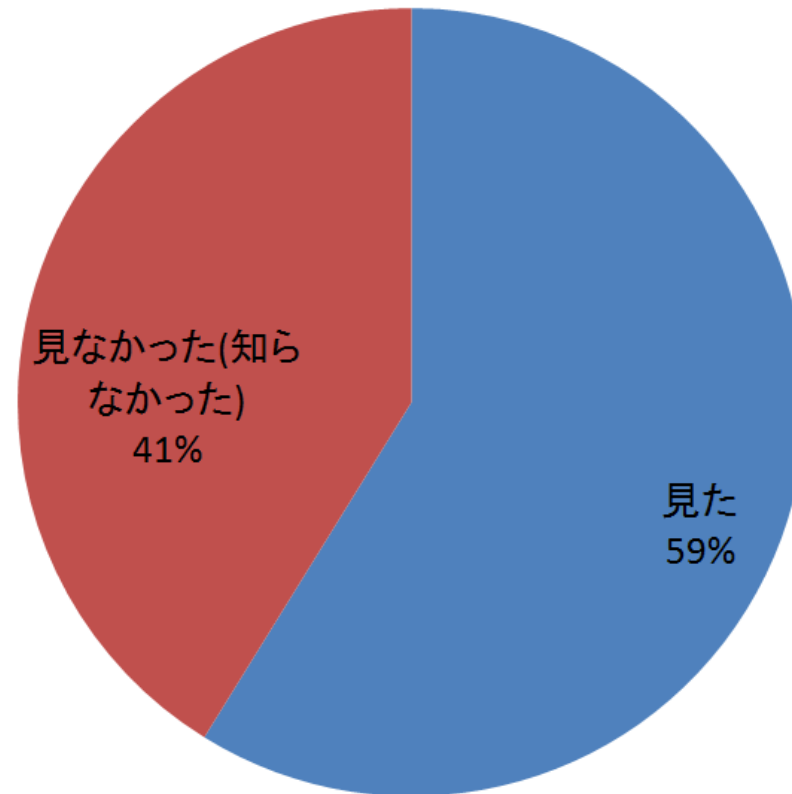
# Q10

## JANOG26の開催をどこで知りましたか？



Q11

gihyo.jpの連載記事(<http://gihyo.jp/admin/serial/01/janog>)をご覧になりましたか？



## Q12

JANOG26全般で不足していた情報、タイムリに得られなかった情報があれば、ご記入ください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを掲載しています。
- おすすめ昼食会場、周辺のコンビニ情報、恵比寿であっても、何があるのかわからない。
- プレゼン資料の公開を、後発のメーリングリストで案内するのもよいと思いますが、（公表しても問題ない部分だけしぼったものを）JANOG26プログラムのページに掲載すると、後で資料が確認しやすいと思います。

## Q13

オリエンテーションに出席した方でご感想やご意見があればご記入ください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを掲載しています。
- 初参加で、どのような流れで参加するのかわからなかったの  
で、安心して臨めるようになりました。
- 自己紹介はしたものの、そのままになってしまったので、名  
刺交換をする時間がほしかったです。
- 複数回出席で目的を達成できそうな印象を受けた。

## Q14

ストリーム配信やtwitterでの情報配信についてご感想やご意見があればご記入ください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを掲載しています。
- 現場にいなくても視聴だけなら十分だった。次回はカメラを2つ用意してスクリーンと壇上の両方を配信して欲しい。
- ついTwitterやUstreamなどのリアルタイムメディアでは、セキュリティや情報漏洩にゆるやかになってしまいがちですが、その際の注意の呼びかけの記事や司会の方の案内が上手にされていたのではないかと思います。可能であればJanogメンバ向けに、Ustreamで放送した映像の公開があると、後からの復習に役に立つかと思えます。
- twitterは実況中継のためには使われていたが、情報を会議に取り込む仕組みとしてはほとんど使われていなかった。(ただ「twitterやっています」言いたいだけ、みたいな感じ。) 司会が「質問・意見ありませんか？」と訊いて会場から無ければ、twitterをブラウザして意見や質問を拾うべき。



## Q15

JANOG26ミーティングの良かった点、これからも続けて欲しい点をご記入ください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを掲載しています。
- ライトニングトークを導入したのは良かった。ライトニングトークの区切りに銅鑼を導入したのは良かった。そして、銅鑼が鳴ったら話の途中でもバツサリ終了させれば尚良かったと思う。
- 様々な環境でネットワークに携わる人間が、アインシュタインが言うところの「まだ見知らぬ共感しうる誰か」に出会える場所であり続けて欲しいです。
- 1/8を使用できたこと。

## Q16

JANOG26ミーティングの悪かった点、今後のミーティングの改善への提言などがあればご記入ください。

- 頂いたご意見のうち、主なものを掲載しています。
- 資料の事後公開有無はわかるようにしてもらえるとありがたいです。会社の出張扱いで来ているので、後で報告をするんですが、資料が無いと困るのでメモで一生懸命でした・・・
- 毎回毎回同じことを書いているような気がするが「質疑応答の時間が少なすぎる！」プログラムの数を減らしてでも質疑応答時間をとるべき。あと今回の懇親会はテーブルが少なすぎた感がある。
- チュートリアルの内容は悪くはないが、割と一方的な情報発信になりやすく、特に夏は開催时期的にINTEROPと内容がかぶりやすいので、そちらに任せたほうがいいと思う。